

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [芦屋国際中等教育学校] 担当教諭名 [貞松 千佳子] (中学3年 A 組40名、B 組40名)

交流相手国 [インドネシア]

海外学校名 [SMP Negeri 23 Surabaya] 担当教諭名 [Kun Mariyati]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	道徳	障がいを持った人たちとの共生	8
	総合	国際理解、福祉	13
	学活		5

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	共生
絵に込めたメッセージ	自然・環境と共生(インドネシア側)しながら、障がいを持った人たちとも共生(日本側)を 図って生きていこうと願いを込めて描きました。

【A 組】



【B 組】



■ 今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・3学年にはインドネシアからきた生徒がいたので、インドネシアに非常に親近感を持っていて、向こうの生徒のことを知りたいという気持ちが高まった。 ・40人で1つのことをする(色を塗る)ことの難しさを実感したが、その中でどのようにすれば皆と協力できるか、協働できるかを考え、まとまていくことができた。 ・今やメール等で海外の人と交流できる時代だが、絵を協働制作することで、それ以上のつながりを感じることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手校とのメールのやり取りが少なかった。相手校の先生が英語でなかなかメッセージを書けなかったことと、こちらも様々なことに追われ余裕が持てなかった。 ・テレビ会議をしたかったが、できなかった。両校がしたいと思っていたが、スケジュールが合わなかったり、その為の準備が追いつかなかった。 ・私達のアイデアに、更なるアイデアを加えて絵を描いてくれたのだが、下絵のアイデアを提案する段階でもっとメールのやり取りができれば良かったと思う。

■ アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・年度の初めに、校内の教諭をはじめ、3学年の保護者にもお手紙で、この1年間アートマイルプロジェクトに参加することを伝えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本側が完成した時とすべて完成した時に校内に展示をし、たくさんの教諭から「素晴らしい絵が完成したね」と言っていた。 ・お披露目会を見に来ていただいた保護者や年度末の保護者用のアンケートの中でも、「中高一貫校で受験がない3年生の1年間でこのようなプロジェクトに参加できて良かった」「素晴らしい取り組みです」など書いていただいた。

■ 主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活 動 内 容	児童生徒の反応	実施教科
導入	5月 6月 7月	<ul style="list-style-type: none"> ・英語で自己紹介カードを書く。 ・自分達の学校や日本文化の紹介を考える。 ・乙武洋匡さんの人生から学ぶ。 ・障がいのある人の活躍・願い(DVD)から学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介カードを英語で書き飾り付けをすることは非常に楽しんでいました。 ・自分達の学校や日本文化紹介もたくさんの案がでて班ごとに協力できた。 ・乙武洋匡さんの幼少時代から学んだので、自分と比較しながら真剣に学べた。 	道徳 4 探究 4
情報収集	7月 8月 9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達の学校や日本文化紹介をフォーラムに載せる。 ・乙武洋匡さんの人生から学ぶ。 ・自分の住んでいる市の障がいを持った人に対する取り組みについて調べ、まとめて発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達がフォーラムに載せたものをお互いに見合っただけでも興奮して喜んでいました。 ・自分の住んでいる市の取り組みをインターネットだけでなく、インタビューをした生徒もいて内容の濃い調べ学習となった。 	道徳 4 探究 4
テーマ検討	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きの案を個人→クラス全体とアイデアを考えていく。 ・フォーラムに載せて提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人個人からでたアイデアをクラス全体の案にまとめるに悪戦苦闘していたが、実行委員が協力して一つの案ができた。 	探究 2 学活 1

制作	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きは一部の生徒で描く。 ・色塗りは班ごとに役割を決め、40人で取り組む。 ・芦屋特別支援学校の生徒にも参加してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下書きが少人数で取り組んだが、少人数でも意見が合わない時もあり協働することの難しさを感じていた。 ・色塗りで40人が関わったが、どうすれば全員で関われるか、どんな気持ちが必要か等、それぞれが考えることができた。 	探究 3 学活 3
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員が今までの取り組み・その時に感じたことを簡単にまとめ発表しながら最後に協働制作した絵を鑑賞。 ・保護者にも鑑賞していただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アートマイルの絵のお披露目だけでなく、前期課程修了式とともに行ったため、達成感や感動はひとしおだった。 	学活 1

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	4	5・④・3・2・1	日本文化紹介を考える時や、絵のアイデアを考える際にも自国のことをしっかり理解できていないことに気づき、いろいろと自分達で調べていた。
異文化の理解	3	5・④・3・2・1	相手校の取り組みや、同年代の子供達の様子はよく知れて喜んでた。ユースサミットに参加した生徒の報告も楽しんで聞いていた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	5	5・4・③・2・1	自校のこと、日本文化紹介を英語で書くときに、英語の得意なものはスラスラ書けるが、そうでない生徒はできる生徒に頼りすぎている。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・④・3・2・1	自分が住んでいる市の取り組みをインターネット等で調べ、情報をたくさん収集しまとめることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	2	5・④・3・2・1	全体を通して、様々な場面で協働作業があり、その中で仲間同士の絆を深めることができた。
協働する力 (役割分担・協力)	1	⑤・4・3・2・1	40人で関わることの難しさを実感したが、どうすればよいか、どんな気持ちが必要かしっかり考えることができた。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	障がいを持った人との共生について学習し、さらに今後も身近なことに目を向けたいと思ったり、関わりたいと思えた
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		⑤・4・3・2・1	下絵段階で何度も「自分達のイメージ・思いと違う」と言って書き直していた。最後には全員が納得する絵となった。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	作品を見て感動するだけでなく、作品の細かい部分について仲間と評価し合っていた。